

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国際交流の推進				整理番号	119	枝番号					
担当部課名	区民生活部文化・交流課	コード	12050	連絡先電話番号	3784	昨年度整理番号	124	昨年度枝番号					
係名	交流推進担当	上位施策名				No							
予算事業名	文化・交流の推進	コード	交流と平和の推進				68						
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	2年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	4	政策番号	5	施策番号	4	事業コード	8
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 一部新規	<input type="checkbox"/> 臨時・単年度	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				根拠法令等							
	区内在住・在勤・在学					(1) 杉並区・ウイロピー市友好協定 (2) 杉並区・瑞草区友好協定 (3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	友好都市 (オーストラリア・ウイロピー市、韓国ソウル特別市瑞草区)等の代表団や親善訪問団の派遣や受入を行う。他課・他団体が友好都市等との交流事業を行う際、連絡調整を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 杉並区民等が、文化・スポーツをはじめさまざまな分野で、友好都市等の住民と交流する機会が増え、相互理解、国際親善が図られる。							
活動指標名(式)	(1) 友好都市訪問者・来訪者数 (2) 友好都市との交流機会提供数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 友好都市との交流事業参加者数 (2) 国際交流事業参加者数								
指標	区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%			
	活動指標(1)	人	68	31	80	111	174	27					
	活動指標(2)	回	4	3	4	4	7	4					
	成果指標(1)	人	68	650	361	790	999	800					
	成果指標(2)	人	2,565	3,000	2,373	2,500	3,008	5,000					
総事業費・コスト把握	事業費	千円	3,541	9,000	6,436	25,505	23,565	10,136	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等	千円											
	(内) 委託費	千円				9,802	9,780	800					
	職員数 (常勤 非常勤)	人	1.10	1.00	1.24	1.24	1.28	0.90	0.80	他課・他団体の事業を含む。			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	10,010	9,060	11,234	11,234	11,597	8,154				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	2,264				
	総事業費 ++	千円	13,551	18,060	17,670	36,739	35,162	20,554					
	単位あたりコスト(-)÷	円	199,279	582,581	220,875	330,982	202,080	761,259					
	財源	受益者負担分	千円			475		140					
		国・都等からの支出金	千円				1,800	0					
特定財源計 +		千円	0	0	475	1,800	140	0					
差引: 一般財源 -		千円	13,551	18,060	17,195	34,939	35,022	20,554					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	2.7	0.0	0.4	0.0						
18年度の主な取組み	内 容				規模	単位	事業費(千円)						
	日豪交流年記念ウイロピー市親善訪問				1	式	14,245						
	瑞草区提携15周年記念訪問団受入				1	式	3,501						
	その他 ()						5,819						

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 119 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	156.8	活動指標(2)の 18年度達成率%	175.0	18年度予算 執行率%	92.4
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		瑞草区と連絡・調整に努め、10年アクションプランに基づく事業(平和ポスター / 絵画合同展示会、中高校生交流会)及び提携15周年記念事業を着実に実行した。 ウィロビー市と連絡調整に努め、日豪交流年親善訪問を着実に実行した。 (単年度事業であった日豪交流年ウィロビー市親善訪問、瑞草区友好提携15周年記念訪問団受入の経費が削減されている。一方、日印交流年記念事業経費が計上されている。)					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	国際化が進み、海外へ出かける人・日本を訪れる外国人がともに増加している。 平成18年3月7日、総務省が設置した「多文化共生の推進に関する研究会」が「多文化共生推進プログラム」の提言を行った。 平成18年4月1日付けで、文化・交流協会が改組され、交流協会が発足した。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	次世代に続く交流をしてほしい。友好都市についてはPRが不足している。民間団体中心で区や交流協会が支援する形での交流を進めるのが良い。交流についての情報提供など。					
	今後の予測	ボランティア団体、NPOを中心とした交流が進むと予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 友好都市との提携により、定期的・継続的に他都市の住民との交流の機会を作り出している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 瑞草区との10年アクションプログラムの事業内容を具体化する際、関係部署と十分に打合せを行い、内容の充実に努める。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 中高校生交流会における派遣・受入では、一部自己負担を求めて実施している。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 必要最低限のコストで実施しているため。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題 補助金助成を行う。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 国際交流に関しては、情報収集・提供に努め、区民の自主的な交流活動を促進して行く。 2012年まで、瑞草区とは10年アクション・プログラムに基づき交流を進めて行く。 他課が実施する交流事業が円滑に遂行できるよう、連絡調整を的確に行う。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区民の派遣・受入に関しては、国際情勢を見ながら対応して行く必要がある。 交流都市との間で、事業内容を十分に協議して行く。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	単年度事業である日印交流年記念事業経費が減となるため。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名			国内交流の推進					整理番号	120	枝番号			
担当部課名		区民生活部文化・交流課		コード	12050		連絡先 電話番号	3784		昨年度 整理番号	125	昨年度 枝番号	
係名				交流推進担当				上位施策名		No			
予算事業名				文化・交流の推進				コード		交流と平和の推進		68	
事務事業の概要	事業開始年度			○ 昭和 ● 平成		1 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 4 政策番号 5 施策番号 4 事業コード 8 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 杉並区・東吾妻町友好協定 (2) 杉並区・名寄市交流協定 (3)					
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区内在住・在勤・在学		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		杉並区民等が、文化・スポーツをはじめさまざまな分野で、友好都市等の住民と交流する機会が増え、友好親善が深まる。					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			友好・交流都市(群馬県東吾妻町、北海道名寄市)等の代表団や親善訪問団の派遣や受入を行う。 他課・他団体が友好都市等と交流事業を行う際、連絡調整を行う		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 友好都市との交流事業参加者数 (2) 国内交流事業参加者数					
	活動指標名(式)			(1) 友好都市訪問者数・来訪者数 (2) 友好都市との交流機会提供数		(1) 友好都市との交流事業参加者数 (2) 国内交流事業参加者数							
指標	区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%		
	活動指標(1)		人	360	348	415	383	430	513				
	活動指標(2)		回	14	15	13	14	17	18				
	成果指標(1)		人	714	435	741	480	689	4,527				
成果指標(2)		人	2,252	1,250	2,354	1,750	1,680	5,700					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	829	1,286	1,064	1,286	958	1,743	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等		千円										
	(内) 委託費		千円										
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.86	0.75	1.00	1.00	1.00	0.78	0.10	他課・他団体の交流事業も含む。		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	7,826	6,795	9,060	9,060	9,060	7,067				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	283				
	総事業費 + +		千円	8,655	8,081	10,124	10,346	10,018	9,093				
	単位あたりコスト(-)÷		円	24,042	23,221	24,395	27,013	23,298	17,725				
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	8,655	8,081	10,124	10,346	10,018	9,093					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)			
			友好自治体との交流事業等への区代表団派遣					1	式	503			
			その他 ()							455			

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 120 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	112.3	活動指標(2)の 18年度達成率%	121.4	18年度予算 執行率%	74.5
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		交流協会が運営するコミュかるショップでの物産販売において、友好都市のほか個別協定を結んでいる全自治体の物産も取り扱うようにし、交流のある自治体のPRに努めた。個別協定を結んでいる自治体からの初めての物産販売の要請に対し、調整を図り実施に結びつけた。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	東吾妻町・名寄市で開催されるまつりへの阿波踊り訪問団派遣事業は、13年度から交流協会へ移行。新潟県小千谷市との「災害時相互援助協定」の締結により都市間の交流が始まり、後援事業を定期的に行っている。福島県北塩原村との「まるごと保養地協定」の締結により、区役所1階コミュかるショップ(交流協会運営)で特産物の販売を行っている。福島県原町市(現南相馬市)との「災害時相互援助協定」の締結により、双方のお祭りへ代表団を派遣するなどの交流が始まった。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	小中学生交流や自然体験などの教育分野、物産展や特産物のあつ旋などの産業・経済分野、保養地などの観光分野での交流を進めてほしい。					
	今後の予測	友好・交流都市提携以外の個別提携を結んだ自治体との交流事業が、より盛んになると思われる。また、地方観光都市などから当区への交流アプローチが引き続き増えたと見込まれる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 中(理由)	理由: 友好都市との提携により、定期的・継続的に他都市の住民との交流の機会を作り出している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 友好・交流都市及び個別提携都市との交流事業の種類や内容を多様化する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 代表団は受益者に該当しないため。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 必要最低限のコストで実施しているため。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題 補助金助成を行う。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 交流協会が運営するコミュかるショップでの、友好都市等の物産販売に併せたPRの拡充を図る。経済交流については関係課・関係団体と調整を図り、物産販売等区民を中心とした交流が進むよう留意する。他課が実施する交流事業が円滑に遂行できるよう、連絡調整を的確に行う。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 杉並区だけは事業内容決められないので、相手都市との協議が必要となる。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	単年度で計上していた、友好・交流都市の市町村合併による自治体名変更に伴う紹介リーフレット・パネルの作成経費が減となるため。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		平和都市宣言関連事業の推進				整理番号	121	枝番号			
担当部課名	区民生活部文化・交流課	コード	051201	連絡先電話番号	3784	昨年度整理番号	126	昨年度枝番号			
係名	交流推進担当	上位施策名			No						
予算事業名	平和事業の推進	コード	051201	交流と平和の推進			68				
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	1 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	(5)	施策番号	事業コード	8
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理			<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他			根拠法令等						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	・非核宣言自治体協議会の全国大会へ参加し、自治体間の連携を図る。 ・核実験に対する抗議文を送付する。 ・平和のつどいを年2回(8月、3月)に開催する。 ・平和ポスターコンクールを年1回(3月)に開催する。				(1) 杉並区平和都市宣言 (2) (3)					
	活動指標名(式)	(1) 平和のつどいの開催日数 (2) 後援名義等使用件数				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民一人ひとりが、平和都市宣言の趣旨を理解し、戦争の悲惨さや平和の尊さに対する認識を深めることにより、世界の恒久平和に寄与する。					
成果指標名(式)		(代) = 適当な指標がない場合の代替指標				(1) 平和のつどいへの参加者数 (2) 平和ポスターコンクール応募者数					
指標	区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
	活動指標(1)	日	31	25	27	25	25	25	28	89.3	
	活動指標(2)	件	2	5	4	5	10	10	10	100.0	
	成果指標(1)	人	1,603	700	753	700	679	700	800	84.9	
	成果指標(2)	人	543	550	895	550	825	850	850	97.1	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	3,061	2,403	2,891	2,602	2,195	3,358	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	220	0	0	0			
	(内) 委託費	千円	909	242	484	242	315	242			
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.85	0.90	0.88	0.90	0.88	0.80	0.10		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	7,735	8,154	7,973	8,154	7,973	7,248		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	283		
	総事業費 + +	千円	10,796	10,557	10,864	10,756	10,168	10,889			
	単位あたりコスト(-)÷	円	348,258	422,280	394,222	430,240	406,720	435,560			
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0	0		
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	10,796	10,557	10,864	10,756	10,168	10,889			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み	内 容			規模	単位	事業費(千円)					
	連携・啓発及び抗議					891					
	8月のつどい			1	回	762					
	平和ポスターコンクール			1	回	291					
	3月のつどい(委託等)			1	回	251					
	その他 ()					0					

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 121 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	200.0	18年度予算 執行率%	84.4
		平和のつどいの講師謝礼の残が生じた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		8月の平和のつどいは、「JICAの国際協力と青年海外協力隊とシニアボランティアの報告」と「アンネのバラの展示」を行った。報告会では、海外での活動経験や国際協力を行う場合の心構えをとおして、世界の平和の確保のために何が必要であるかを考える契機とした。また、展示では、アンネのバラが高井戸中にもたらされてから30年が経ち、バラをとおして平和のメッセージをひろげていった課程を紹介し、市民レベルから平和を希求する道を探った。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	世界と日本の平和をめぐる状況が変わってきている。憲法9条を取り巻く論議も、かつてないほど活発化している。また、核拡散防止や核廃棄を求めていく上で、核不拡散条約(NPT)や6者協議の使命は重大である。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	平和のつどいに対し「身近な題材を取り上げてあり、平和について考えようと思った。」「企画がPR不足である。」という意見がある。					
	今後の予測	日本の国連の中での役割や国際貢献のための協力の必要性が高まる。戦争体験者の高齢化が進み、戦争の悲惨さや平和の尊さを伝えていく区の役割と責任は重くなる。区が、平和事業を進めていく重要性は増大していく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	理由:世界の恒久平和に寄与するため、区民に直接働きかけ、意識を高めるような事業を実施している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容:地域団体等を支援し、さまざまな平和事業を展開していく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:趣味や娯楽とは異なり、平和意識を啓発していくことに、受益者負担は適さない。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:現在、既に必要最低限の経費で行っている。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 ・8月の平和のつどいで、区内唯一の被爆者団体「杉並光友会」による「原爆と人間展」を行った。また、「杉並光友会」主催の「被爆者と区民の交流セミナー」を後援した。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	・平和ポスターコンクールの実施にあたり、「杉並ユネスコ協会」と協力して、平和学習の支援や表彰式を行った。					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平和に対する現代的な課題を取り上げながら、平和の尊さや戦争の悲惨さを伝え、戦後世代を含めた多くの世代が平和への関心を高められるような事業を実施していく。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	杉並区は平成20年3月30日に平和都市宣言20周年を迎える。都市宣言の周知度が高まるような事業を予定している。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並区交流団体助成						整理番号	123	枝番号		
担当部課名	区民生活部文化・交流課	コード	051201	連絡先電話番号	3784	昨年度整理番号	127	昨年度枝番号				
係名	交流推進担当	上位施策名						No				
予算事業名	文化・交流団体助成	コード	12110	交流と平和の推進						68		
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 4 政策番号 5 施策番号 4 事業コード 8 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業								
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区民、交流団体		(1) 杉並区交流協会補助金交付要綱 (2) (3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	杉並区交流協会に対し、交流事業が円滑に行えるように補助金を交付する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民の国内外の交流が促進され、交流活動が活発に行われることを実現するために、協会が推進役となって機能する。								
	活動指標名(式)	(1) 協会会員数 (2) 事業回数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 協会会員数対前年伸び率 (2) 事業参加者数								
指標	区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%		
				計画	実績	計画	実績					
	活動指標(1)	人	1,298	1,350	1,204	900	809	850	1,000	80.9		
	活動指標(2)	回	753	768	769	693	710	695				
総事業費・コスト把握	成果指標(1)	%	-4.5	4.0	-7.2	-	-	5.1				
	成果指標(2)	人	1,302	1,350	1,284	1,350	1,398	1,450				
	事業費	千円	58,114	70,509	58,235	38,114	31,006	35,135	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円										
	(内) 委託費	千円										
	職員数(常勤 非常勤)	人	8.63	7.32	7.77	0.02	0.02	0.02	文化・交流協会は、18年度から文化協会と交流協会に分かれたため、交流協会単独で評価表を作成。(事業費及び活動指標1、成果指標1は単独で算出できないので、16~17年度は文化・交流協会の数値。また、成果指標1の会員数伸び率は、協会分離に伴い新たに登録してもらったので、前年比数値は算出不能)			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	78,533	66,319	70,396	181	181			181	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			0	
	総事業費 + +	千円	136,647	136,828	128,631	38,295	31,187	35,316				
	単位あたりコスト(-)÷	円	105,275	101,354	106,836	42,550	38,550	41,548				
財源	受益者負担分	千円										
	国・都等からの支出金	千円										
	特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0	0				
	差引:一般財源 -	千円	136,647	136,828	128,631	38,295	31,187	35,316				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
18年度の主な取組み	内 容							規模	単位	事業費(千円)		
	その他 ()									31,006		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 123 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	89.9	活動指標(2)の 18年度達成率%	102.5	18年度予算 執行率%	81.4
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	社会経済の成熟化に伴い、区民等の交流活動が活発になってきている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	異文化を理解し、人と人のふれあいも体験できる交流の機会を拡充してほしい。					
	今後の予測	社会経済の成熟が進展し、区民等の交流活動がより一層活発になることが予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区からの補助金により協会事業は円滑に行われており、区民の交流活動に寄与している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 事業内容をよりニーズの高いものに変えて行く。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 交流協会事業は、杉並区における国内外の交流促進が目的であり、受益者負担になじまない(ただし、事業によっては参加費等の一部負担をお願いしている)					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 平成18年度の協会分離に伴い、専門性を高め組織体制と事業の見直しが図られ、必要最低限のコストで運営しているため。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題 補助金の交付					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 NPO等との協力を得ながら、協会の特色を活かした事業を展開していく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 事業を精査する。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国内交流事業				整理番号	434	枝番号			
担当部課名		保健福祉部児童青少年課		コード	092709	連絡先 電話番号	4402	昨年度 整理番号	448	昨年度 枝番号	
係名		事業係		上位施策名				No			
予算事業名		児童健全育成事業		コード	43550	交流と平和の推進				68	
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		9 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				根拠法令等				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区内在住の 小学4年生～6年生 (吾妻30名、風連25名)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		子ども同士の交流を通して、友好都市の文化、生活、風土等の理解を深めることにより、児童の健全育成を図る。		
	活動指標名(式)		(1) 参加者数 (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 応募者数 (2)		

区分	単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績				
指標	活動指標(1)	人	51	70	81	55	55	80	55	100.0	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	人	56	90	118	80	103	110	80	128.8	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	2,604	5,295	4,366	3,295	3,025	5,842	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円									
	(内) 委託費	千円									
	職員数 (常勤 非常勤)	人	1.20 0.00	1.70 2.00	1.20 0.00	1.20 0.00	1.20 0.00	1.20 0.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	10,920	15,402	10,872	10,872	10,872	10,872		
		非常勤職員分	千円	0	5,780	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	13,524	26,477	15,238	14,167	13,897	16,714			
	単位あたりコスト(-)÷	円	265,176	378,243	188,123	257,582	252,673	208,925			
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	13,524	26,477	15,238	14,167	13,897	16,714			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

18年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)
	杉並区・名寄市風連町子ども交流会(夏季)				2,586
	杉並区・東吾妻町子ども交流会				439
	その他 ()				0

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 434 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	91.8
	風連交流会について、杉並区実施の内容で、杉並区内各所を巡るプログラムを多く取り入れることで事業本来の趣旨を追求するとともに、移動に伴う経費を削減する工夫をした。				

前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	応募者数の減少対策として、区内在学の全対象児童へのチラシ配布を実施しPRを一層強化した。これにより、成果指標の数字どおり、応募者数の増加が見られた。
---	--

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成12年度以降、吾妻交流会が2年越しでの相互交流となったため、とくに杉並区実施の年は魅力に欠けるためか応募者・参加者ともに少ない。また、風連の中学生交流も、14年度以降隔年実施となっている。さらに、参加者の状況を見ると、冬の風連交流会において、風連町側の中学生の参加が減少傾向にあり相互交流の観点から課題となっている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	小学生の交流については、概ね「よい経験になった。」「交流事業は貴重な体験の場。」と、前向きな事業評価と事業継続の期待が寄せられている。
	今後の予測	以前に参加経験のある子どもが再び応募するケースが徐々に増えてきている。この傾向は、風連町・吾妻町にも同様の傾向があり、今後も続くことが予想される。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 他都市の子ども同士が生活を共有する事業は、他に見られな
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:
	成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 町散策や人的交流を拡充するプログラムの工夫により事業効果のある程度拡大できる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 参加費を拡大することによる参加者離れが懸念されるため。
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続	<input checked="" type="radio"/> 推進	<input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題: 学生ボランティア、参加児童の保護者のプログラム運営への協力を求めている。			
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)				

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	

今後の事業のあり方 (中長期)	応募状況の低迷化傾向が続くと思われる。参加者の重複や固定化を避けるため、全対象児童へのPRを当面続けるとともに、プログラム内容の一層の工夫が求められる。また、冬の中学生交流については、先方自治体の参加者が極端に少ないことが数年来続いており、事業の継続自体を見直す時期に来ている。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 風連町・東吾妻町と、今後のあり方について更に協議をする。

20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	対象者の事業離れに配慮しつつも、受益者負担を一部見直すことで既定経費の削減を図る方向を、先方自治体と協議する。					